

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【公表番号】特表2013-503617(P2013-503617A)

【公表日】平成25年2月4日(2013.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-006

【出願番号】特願2012-527360(P2012-527360)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/68 (2006.01)

G 01 N 37/00 (2006.01)

G 01 N 33/50 (2006.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/68 A

G 01 N 37/00 1 0 2

G 01 N 33/50 P

C 12 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月20日(2013.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者のサンプルを分析して、miR-127、miR-126、miR-210およびmiR-101から選ばれる少なくとも1つのマイクロRNAの発現レベルを決定し、コントロール値と該発現レベルを比較することを含む、該レベルの変化が腎損傷を示す、急性腎損傷の診断および/または予後方法。

【請求項2】

分析されるサンプルが、血液、血清または尿から選ばれる、請求項1に記載の急性腎損傷の診断および/または予後方法。

【請求項3】

コントロール値に対する血清miR-127の発現レベルの減少が、急性腎損傷を示す、請求項1または2に記載の急性腎損傷の診断および/または予後方法。

【請求項4】

コントロール値に対する尿miR-127の発現レベルの増加が、急性腎損傷を示す、請求項1または2に記載の急性腎損傷の診断および/または予後方法。

【請求項5】

コントロール値に対する血清miR-126の発現レベルの減少が、急性腎損傷を示す、請求項1または2に記載の急性腎損傷の診断および/または予後方法。

【請求項6】

コントロール値に対する血清miR-210の発現レベルの増加が、急性腎損傷を示す、請求項1または2に記載の急性腎損傷の診断および/または予後方法。

【請求項7】

コントロール値に対する尿miR-210の発現レベルの増加が、急性腎損傷を示す、請求項1または2に記載の急性腎損傷の診断および/または予後方法。

【請求項 8】

コントロール値に対する血清miR-101の発現レベルの増加が、急性腎損傷を示す、請求項1または2に記載の急性腎損傷の診断および／または予後方法。

【請求項 9】

マイクロRNAの発現が、PCRによって決定される、請求項1～8のいずれか1つに記載の急性腎損傷の診断および／または予後方法。

【請求項 10】

マイクロRNAの発現が、定量的PCRによって決定される、請求項1～8のいずれか1つに記載の急性腎損傷の診断および／または予後方法。

【請求項 11】

マイクロRNAの発現が、ARNマイクロアレイによって決定される、請求項1～8のいずれか1つに記載の方法。

【請求項 12】

請求項1～11のいずれか1つに記載の方法を行うのに必要なプローブおよびプライマーを含む、急性腎損傷の診断および／または予後のためのキット。